

# マグネシウム産業の海外動向 2021

2021年 **10/19日(火)** 13:30~16:30

◆形式 オンライン講演会 (Teams 利用予定)

◆参加費 会員:10,000 円(税込) 一般:20,000 円(税込)

2020 年から続く新型コロナウイルス感染症が未だに終息しない中、カーボンニュートラル、自動車の電動化など地球温暖化への対応が急速に展開されはじめ、世界中のあらゆる分野において、変革の時を迎えています。

実用金属中で最軽量であるマグネシウムは、軽量化が重要な対策である自動車などの輸送分野に貢献するだけでなく、他の金属材料の副資材として必須である、とても重要な金属材料ですが、中国における急速な環境への対応や、コロナ禍による影響は、マグネシウム業界にも大きく関係しています。

本講演会では、海外メーカーの代理店を務める企業およびマグネシウム材料の流通に関わる企業の方を講師に迎え、欧米におけるマグネシウム合金の製品開発、設備開発の動向や、世界最大のマグネシウム生産国である中国と、中国以外での生産の状況など、世界におけるマグネシウム産業の状況を紹介します。コロナ禍で海外への渡航が難しい中、世界の動向を聞くことができる貴重な講演会となります。この機会に是非ご参加ください。

## プログラム

時間	講演テーマ・講師
13:30~13:40	開会 (挨拶・業界動向説明 日本マグネシウム協会事務局)
13:40~14:20	①欧米におけるマグネシウム製品の実用例 森村商事(株) 岡田 有未 殿
14:20~15:00	②大型マグネシウム casting 部品のための高効率大型給湯機 (株)コーレンス 木村 武志 殿
15:00~15:10	休憩
15:10~15:50	③中国産 Mg・Si・Mn の相場上昇要因分析と今後の見通し (株)タクトレーディング 上島 隆史 殿
15:50~16:30	④金属マグネシウム材料相場高騰の原因分析とその対策、 過度の中国依存からの脱却手法考察 アドバンストマテリアルトレーディング 小西 大介 殿
16:30	閉会

※講師の熱量により多少時間が超過する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## 参加申込

以下よりメールまたは FAX にてお申込みください。

▶ 申込先: 日本マグネシウム協会 事務局行き メール: [office@magnesium.or.jp](mailto:office@magnesium.or.jp) / FAX: 03-3243-0285

### 令和3年度技術講演会「マグネシウム産業の海外動向 2021」参加申込書

氏名	会社名・所属	
住所	〒	
連絡先	E-mail:	
	TEL:	
区分:(該当するものに○印)[ 会員 ・ 一般 ]		

① 申込後に請求書を送付します。参加費は講演会前日を目途に請求書に記載の振込先までにお振込みください。

② 開催日が近くなりましたら、事務局より連絡先の E-mail アドレスに Teams 接続先の URL をお送りいたします。

③ 問合せ: 一般社団法人 日本マグネシウム協会 事務局 駒井、小原 Tel 03-3243-0280

※Teams には、氏名または会社名がわかる名前で接続してください。いずれも不明の場合は入室を承諾しない場合があります。

## <講演概要>

13:40~14:20 ①欧米におけるマグネ圧延製品の実用例 森村商事(株) 岡田 有未 殿

海外では圧延材料が軽量金属として軍需を含む輸送機器、医療、産業機械また製版材料として広く普及しています。

日本国内では中国製の地金を用いたダイカスト成型やチクソ成型の認知度が高いですが、本講演では、主に欧米における合金圧延板を含んだマグネシウム製品・産業機器への適用例やマグネ粉等の使用例をご説明します。

14:20~15:00 ②大型マグネシウム鑄造部品のための高効率大型給湯機

(株)コーレンス 木村 武志 殿

国内外にて広く利用されている、ラウフ社製マグネシウム製品用各種溶解・給湯設備をはじめ、近年の大型給湯機や、環境に配慮した高効率な設備についてご説明いたします。

15:10~15:50 ③中国産 Mg・Si・Mn の相場上昇要因分析と今後の見通し

(株)タクトレーディング 上島 隆史 殿

2008 年以來の歴史的な高値を更新しているマグネシウムや、史上最高値を記録している金属シリコンや金属マンガンが急騰した要因分析や、今後の展開について弊社見解をご説明いたします。

15:50~16:30 ④金属マグネシウム材料相場高騰の原因分析とその対策、過度の中国依存からの脱却手法考察

アドバンストマテリアルトレーディング 小西 大介 殿

2020 年初頭に発生した新型コロナ・パンデミックにより引き起こされた世界的な混乱状況は、エネルギー・資源国際価格の高騰状態を引き起こしました。金属マグネシウム原料も例外ではなく、各国の金融緩和による景気急拡大と主要生産国の政治問題を背景に、現在、2008 年以來の歴史的な高値となっています。筆者はすでに相場は下落局面に入っていると分析しており、短期間で原料コストから算出される合理的価格水準に落ち着くと推定します。

ただ、過度の中国依存が混乱の根本的な原因であり、依存度を筆者分析の許容値上限である一定比率以下に下げするために、当面は非中国メーカーからの調達を安定的に実施することが必要不掛けるですが、同時に、一刻も早くオールジャパンのマグネシウム地金メーカーを国内に設立するべきだと考えます。

島嶼国家である日本には豊富な海洋資源があり、海水から大量生産されている食塩精製工程で発生する副産物の濃縮海水（鹹水）には高濃度の塩化マグネシウムが含有されます。これを最大限活用、日本マグネシウム協会会員企業を中心として、大学・研究機関と政府関係省庁の技術的・資金的支援を仰ぎ、アルミ合金メーカー・鉄合金メーカーをはじめとした需要家企業からも投資を受けた生産企業の成立を急ぐことを提案します。